【資料1】

個人情報の保護を図るため、個人情報保護法が平成15年（2003年）に公布されました。

このような法整備が行われた背景として、次のような要因があります。

まず、現代社会においてコンピュータを使った情報処理が著しい普及を遂げているという背景があります。すなわち、今日ではコンピュータによる大量・迅速な情報処理が本格化し、各種の個人情報が本人も知らない間に収集され、コンピュータなどの情報機器の中に大量に蓄積される機会が増加しています。そうしたなかで、本人の予想しなかった目的に個人情報が使用されるという事態が発生しています。

また、不正確な内容の個人情報が利用され、これによって本人が類似の名前の破産者と人違いされて金融機関から融資を受けられないなどの問題も発生しています。

さらに、コンピュータに蓄積された大量の個人情報が不正に漏えいしたり、改ざん・悪用されるといった事態に対する危険性も指摘されています。実際に、コンピュータから数万人あるいは数十万人規模の個人情報が大量漏えいするという事件が繰り返し発生しています。

また、セキュリティが不十分であることが原因でコンピュータウイルスに感染する事例も頻発しています。こうしたウイルスの中には、感染者がPC内に保管している表計算ファイルなどを勝手に添付したメールを、多くの人に向けて自動的に送り付けるものも登場しています。

こうした状況を踏まえ、誰もが安心してIT社会の便益を享受するためには個人情報を適正に保護する必要があります。

「個人情報」とは、生存する個人を識別することが可能な情報を指すと定義されています。したがって、法人に関する情報は含まれません。ただし、法人の情報であっても役員などの情報が含まれている場合があり、「個人情報」に該当することもあります。

また、個人の情報であっても生存者の情報に限定され、死者の情報は除外されます。しかし、一見すると死者の情報のように見えても、遺族など生存者の情報に該当する場合があるので、注意が必要です。

特定の個人を識別しうることが要件とされている点にも留意する必要があります。個人識別可能性に欠けた情報は除外されます。しかし、他の情報と容易に照合することができて識別可能になる場合には「個人情報」となりえます。

以上の要件を満たす限り「個人情報」に該当することとなります。したがって、コンピュータ処理される電子データだけでなく、非コンピュータ処理情報である紙の情報などについても、これに含まれます。

【資料2】

・規程類の最上位にあるのが「方針」であり、この中には「個人情報保護方針」がある。

・「方針」の下位に位置するのが「規程」であり、この中には「個人情報管理基本規程」がある。

・「規程」の下位にあるのが「細則類」であり、この中には「個人情報管理実施細則」「安全対策細則」といった各種の細則がある。

・「細則類」の下位にあるのが「各部署の手順書」であり、この中には「各部署固有の手順」が示されている。

・「各部署の手順書」の下位にあるのが「個人情報管理台帳」であり、「個人情報管理様式1」で記載内容が定められている。

【資料3】

行の追加

・「法令、規範に対する違反」と「社会的な信用の失墜」の間に「経済的な不利益」を追加する。

・「問題の説明」に該当する欄には、「金銭的な面で損をすること。」と記入する。

・「紙媒体の場合の例」に該当する欄には、「契約に定められた違約金、損害賠償金の発生、被害拡大の防止や被害回復のための告知に関わる費用の発生など。」と記入する。

・「PC、サーバー上の電子データの例」に該当する欄は、「紙媒体の場合の例」と同じとする。

列の追加

・「PC、サーバー上の電子データの例」の右側に、「CD、DVDなどの電磁・電子媒体の例」を追加する。

・「目的外利用」に該当する欄は、「紙媒体の場合の例」「PC、サーバー上の電子データの例」と同一とする。

・「漏えい」に該当する欄には、「電子媒体が盗み出される、電子媒体が持ち出される、ミスで外に出るなど。」と記入する。

・「滅失または棄損」に該当する欄には、「物理的に読み出し不能になる。」と記入する。

・「法令、規範に対する違反」に該当する欄は、「紙媒体の場合の例」「PC、サーバー上の電子データの例」と同一とする。

・「経済的な不利益」に該当する欄は、「紙媒体の場合の例」「PC、サーバー上の電子データの例」と同一とする。

・「社会的な信用の失墜」に該当する欄は、「紙媒体の場合の例」「PC、サーバー上の電子データの例」と同一とする。

【資料4】

|  |  |
| --- | --- |
| 漏えいの原因 | 漏えい件数 |
| 宛名間違い | 309 |
| メール | 225 |
| FAX | 100 |
| 封入ミス | 30 |
| ウイルス感染 | 15 |
| その他の漏えい | 144 |
| 計 | 823 |